

通園バス 置き去り防止装置 (CAPS-189B)

取扱説明書 ダウンロード

Download

CEPSA 降車時確認式 置き去り防止装置 CAPS189 説明書 取付編		CAPS-189B
1. はじめに <p>この度は、本製品をご購入頂き、誠にありがとうございました。ご使用前に本書をご覧ください。正しく取り付けてください。</p> <p>警告</p> <p>本製品はDC12Vおよび100V24V専用です。製品仕様範囲外の電源電圧で使用しないで下さい。火災・故障の原因になります。</p> <p>本製品の取付は本書に従い、正しく確実に取り付けて下さい。故障や事故の原因になります。</p> <p>本製品は、-30℃～65℃の温度範囲で使用が可能です。その範囲を超えて使用した場合、正常に動作しない可能性があります。また、ステイタインジケータ以外は直射日光の当たる場所に設置はできません。</p> <p>本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けております。分解・改造等は絶対しないで下さい。不法改造を行った場合、法令により罰せられることがあります。</p> <p>本製品は高音アラームを使用しています。人が近くにいる時は、むやみに鳴らさないで下さい。急性音響外傷等をおこす恐れがあります。</p> <p>注意</p> <p>本製品を故意に分解したり改造しないで下さい。</p> <p>本製品に過度の衝撃や振動、圧力を加えないで下さい。</p> <p>本製品はシガープラグから給電される電力で内蔵バッテリーに充電しています。エンジン始動時にシガープラグがシガーソケットに正しく接続されていることを必ず確認して下さい。新たな潤滑油以上車検を使用しなかった時はエンジンを4時間以上始動し、充電してからご使用下さい。</p> <p>本製品の主装置 からケーブルを抜く場合は、必ずコネクタ部分を持って行ってください。</p>	2. 内容物  <p>主装置 1台</p>  <p>シガープラグ/ケーブル 1式</p>  <p>無線式確認ボタン 1台</p>  <p>ステイタインジケータ 1台</p>  <p>SOSボタン 1台</p>  <p>車外ホーン 1台</p> <p>エンジン始動時に 音は必ず鳴ります は必ず確認して下さい。 本装置は故障して います。</p> <p>取付部材(ケーブルクランプ、両面テープ) 1式 ・単3乾電池 2本 ・説明書(本書) 1部 ・本製品販売・使用時の注意事項 1部 ・点検整備要領 1部 ・保証書 1部</p>	



Q 置き去り防止装置の義務化はいつからですか？

A 安全装置の義務化は2022年12月に公布され、2023年4月1日より施行されています。送迎バスへの安全装置の装備は、施行から1年間は経過措置が設けられています。

Q 義務化の対象は？

全国の幼稚園・認定こども園・保育所・特別支援学校などが点呼および安全装置の装備義務化の対象です。約24,000施設、バス台数としては約44,000台が対象となります。

A 小・中学校や放課後児童クラブ(約11,000台)は降車時に点呼等による所在の確認のみ義務化対象で、安全装置の装備は義務化されていません。

Q 違反した場合の罰則は？

A 安全装置の設置義務違反をした場合、その園は業務停止命令の対象となります。

Q 料金はいくらですか？

A 置き去り防止安全装置一式：希望小売価格 140,800円(税込)円です。

Q ランニングコストはかかりますか？

A 装置一式、設置費用以外はかかりません。

Q 補助金について

A 置き去り防止安全装置の装備義務化にあたり、事業者の負担を減らすよう補助金が出されます。装備が義務付けられる施設では1台あたり上限17万5000円、義務付けられない施設では1台あたり上限8万8000円です。

安全装置の装備が義務付けられている施設

- ・幼稚園
- ・認定こども園
- ・保育所
- ・特別支援学校 など

1台あたりの補助金額上限 175,000円

安全装置の装備が義務ではない施設

- ・小・中学校 / 放課後児童クラブ
- ・保育所以外の児童福祉施設（助産施設、児童遊園、児童家庭センターを除く）
- ・地方裁量型認定こども園
- ・居宅訪問型保育事業 / 家庭的保育事業 / 小規模保育事業 / 事業所内保育事業
- ・児童発達支援事業 / 放課後等デイサービス
- ・認可外保育施設 など

1台あたりの補助金額上限 88,000円

Q 置き去り防止安全装置の補助金対象製品は？

2種類。

ヒューマンエラーを補完し子どもの所在確認が確実に行われるようにする安全装置として認められる製品は2種類あります。それぞれに共通する要件と、各種の要件が定められています。

○降車確認式（置き去り確認を促す）

○自動検知式（センサーで置き去りを検知する）

A この2種類のどちらか、または両方の機能を持つ併用式の製品が、ガイドラインに適合する安全装置として認められています。ガイドラインに適合する製品のリストが[内閣府・こども家庭庁HP](#)で提供されています。

このガイドラインに掲載されている製品を購入する際は、国から補助金交付の対象となります。

[適合品リスト](#)・[送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のリストについて-こども家庭庁](#)

Q 保証はありますか？

ご購入日から1年間の保証期間があります。

A また、保証期間中は、保証書に記載の無償修理規定にもとづき対応いたします。

Q リース車両への取付は可能ですか？また、別の車両への付け替えは可能ですか。

可能です。

A 主装置は運転席付近に置いていただき、各ボタンは強力両面テープでの取付になりますので、付け替えも容易です。付け替えの際の両面テープ等は別途ご用意ください。

Q 本体取付用の金具は準備されているでしょうか？

主装置（本体）取付用の金具はご用意がございませんが、SOSボタン・ステイタスインジケータのケーブルをとめておく、ケーブルクランプは付属します。（10個）

A 主装置の側面にビス止め穴がありますので、主装置の固定にご使用いただくか、同梱のマジックテープをご利用ください。

Q 確認ボタンの乾電池の寿命はどれくらいですか？

A 1日10回使用で、約2年程度が目安とお考えください。

Q 主装置の電源はシガーソケットのみですか？別で電源を取るためのケーブルは付属していますか？

A 給電はシガー（アクセサリ）ソケットからのみとなります。その他、電源ケーブルは付属しておりません。

Q 取付の際に使い方のレクチャーをしてくれますか？

A 各代理店様、販売店様からのご説明、動画の取付説明をご提供しております。
また弊社サポートページに取付、使用方法をご案内しております。お電話やメールでもご案内致します。

Q 取付可能な車両の制限はありますか？

A 12V/24Vの車両であり、主装置、各ボタンの設置スペースがあること。

Q 無線ボタンの距離の制限はありますか？

A 特にございませぬ。あらゆる車両を十分カバーできる通信距離となっております。

Q 給油移動時や整備点検の際に、機能をオフにすることはできますか？

A 主装置の電源スイッチをオフにすることで、機能の停止が可能です。
(主装置の電源スイッチは容易にオンオフできないようになっておりますので、工具を使って行ってください。)

Q 主装置内蔵のバッテリーの充電にはどれくらいかかりますか？

残量が0%に近い状態から満充電までは約7-8時間となります。
出荷時70%から80%となっており、1日1-2時間の運転（充電）があり実際にバッテリーの使用は数分程度ですので、日
A 常的に使用していただければ残量の心配はございません。
長期間使用しないのがわかっている場合は、主装置の電源スイッチをオフにすることでバッテリーを保つことができます。

Q ボンネットへのホーン取付の際の注意事項はありますか？

NEW

A 発熱によるホーンの故障を避けるため、ボンネットにホーンを取り付ける際は、エンジンの発熱が避けられるように設置してください。